

研究名：比喩皮肉文テストと SRS-2 対人応答性尺度の関連性の検討

1. 研究の目的

比喩表現と皮肉表現の理解度を評価する比喩皮肉文テストは、発達障害児のスクリーニングに有用であることがわかっています。一方 SRS-2 対人応答性尺度は、自閉スペクトラム症と関連する症状を測定する検査です。当院こころの診療部で臨床的に自閉スペクトラム症と診断された患者さんに行った両検査の結果をもとにして、比喩皮肉文テストが自閉スペクトラム症のどの下位尺度と関連するかを検討するのが今回の研究の目的です。

2. 研究の方法

- ① 研究対象:当センターにて 2015 年 4 月～2018 年 3 月までに自閉スペクトラム症と診断された方
- ② 研究期間：倫理審査委員会～2021 年 3 月
- ③ 研究方法:通常の診療内で行う検査(比喩皮肉文テストと SRS-2 対人応答性尺度)の結果を分析して、比喩皮肉文テストが自閉スペクトラム症のどの下位尺度と関連するかを検討します。

3. 研究に用いる情報の種類

比喩皮肉文テストの結果、SRS-2 対人応答性尺度の結果

※ 患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4. 情報の公表

学会発表、論文投稿(国内外)を予定しております。

5. 研究実施機関

国立成育医療研究センター

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、7月30日までに下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター こころの診療部 小枝 達也

TEL：03-5494-7120（内7091）

○研究責任者：

国立成育医療研究センター こころの診療部 小枝 達也